



# 隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校  
学校だより No43  
文責 芹川博文  
3月23日(月)

## ご卒業 おめでとうございます

～ 新たな一步を踏み出す82名 幸多からんことを！ ～



卒業生の皆さんへ (卒業式「式辞」より)

皆さんは、「休眠打破」という言葉を聞いたことがありますか。「桜が開花するためには、眠っている状態を打ち破る、真冬の寒さが必要」という意味です。花を咲かせるためには、厳しい寒さが必要なのです。これは「人」とも重なります。これから皆さんが歩

む道は、上手くいくことだけではなく、想定外の困難や試練にもぶつかることでしょう。しかし、なかなか結果が出ない時、「忍耐」という花が開きます。自分の未熟さを痛感する時、「謙遜」という花が咲くかもしれません。家族や仲間の優しさに触れる時、「感謝」という花が咲くことでしょう。そして、お互いの花を見て、「きれい」と思える心の豊かさを持ち合わせたいものです。

人は人とのつながりの中で力を得ます。誰かの思いに触れる時、踏ん張って生きる人々の姿や思いに触れる時、私たちは新たな力を得ます。心と心が響き合います。やるべきことが見えてきます。

保護者の皆様・地域の皆様へ

見えるところ、見えないところで「応援団」として支えてくださった地域の皆様、PTA 活動をはじめ、様々な教育活動に力を注いでくださいました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

## たくさんの「隈府小 愛」に囲まれて ～ 3つのトピックから ～

桜の「バトン」は今年の卒業生へ 53年前、昭和47年3月卒業生により記念植樹された桜が老朽化のため伐採されましたが、新たな苗木が、令和8年3月卒業生となる6年生の手によって植樹されました。

当日は音光寺教育長も駆けつけてくださいました。また、昭和47年卒業生からはお心遣いいただきました。沢山の方の思いに見守られながら、新たなスタートを切った隈府小正門前の桜の苗木。これから約半世紀(50年)は咲き続け、卒業生にエールを送るとともに、新しく入学してくる子どもたちを、そっと見守り続けてくれることでしょう。



グランドゴルフに挑戦 変わりやすい天候の中、1時間以上前から集まって準備をされる姿に驚きと、そして隈府小の子どもたちへの思いの深さを感じました。区長様、民生委員様など地域の方々に来ていただき、社会福祉協議会主催のグランドゴルフを6年生が楽しみました。

グランドゴルフそのものは、しばらくしないかもしれませんが、しかし、何事も経験は大事。中にはホールインワンをした児童もいたとのこと。これがきっかけでゴルフに興味を持ち、ゴルファーになる人が出るかもしれません。なによりも地域の方との交流そのものが貴重な時間でした。



熱い心意気に感動 困っていた中庭奥が、PTA 副会長の古閑様によって、見事に生まれ変わりました。側溝のふたが落ち込み、人の力では動かない瓦礫がスッキリ片付き、広々とした場所に変身。

「ボランティアなら、します」との心意気。こんな熱い思いをもった方々に支えられている隈府小学校は、本当に幸せです。



ビフォー(工事前)



アフター(工事中)

今年度の「隈府小だより」は、最後となります。一年間、本当にありがとうございました。